



No. 5

今ある郷土は先人の優れた業績によって培われてきたと思われま
す。そこで、郷土の先人の業績に
ついて、以前から知りたいと思っ
ていました。そんなことから、大
館市史二巻、三巻上・下や大館町
郷土史などを読んでみたこともあ
りました。

八月二十二日を始まりとして、
地元の新聞に「大館市の先人を顕
彰する会」の記事が数回載りまし
た。また、岩手など他県の施設や
秋田県立博物館の顕彰展示室も見
る機会がありました。鹿角市の
「先人顕彰館」を数回訪ねたところ、
係員から展示だけではなく、
先人の研究発表会もあるというこ
とを伺いました。

昨年十月には小林多喜二文学碑
が、建立の会のかたがたにより立

派にできました。また、桂城公園
には上原敏の碑もあります。そこ
で、大館市の先人顕彰はどうなっ
ているのでしょうか。この機会に
大館市の顕彰活動についてリポ
ートしてみました。

大館市の現状は

平成八年開館の大館郷土博物館
を改めて訪れてみました。展示館
二階に「考古」、「歴史」、「民族」、
「先人顕彰」の各コーナーがあり
ます。簡単な仕切りで区切られた
展示室の「先人顕彰」コーナーに
は、大きなパネルが展示されてい
ます。このコーナーには現在、
「安藤昌益」、「岩沢太治兵衛」、
「石川孫市」、「日景弁吉」、「狩野
良知」、「狩野亨吉」、「石井嘉右衛
門」、「小林重右衛門」、「栗森吉右
衛門」、「小林多喜二」の各氏が展
示されています。また、「鳥潟右
一」、「鳥潟隆三」、「鳥潟小三吉」
の三氏については鳥潟会館に展示
されているとのことでした。

そこで、郷土博物館の石田館長
にお話を伺いました。

Q・顕彰はパネルだけが目立って、
遺品などの資料が少ないようで



石田館長から取材している神成リポーター(左)

すが。

A・色々と手をつけているつもり
なのですが、集まらないのが現
状です。ゆかりのあるかたな
どからのご協力を得たいもので
す。(今のところ日景弁吉氏の
遺品と小林多喜二氏の作品が展
示されている程度です。)

Q・先人顕彰のための説明用のパ
ンフレットはありませんか。

A・パンフレットはありませんが、
小中学生の見学や団体の来館者
には職員が説明しています。

Q・先人顕彰のための研究発表会
やシンポジウムなどを開催する
計画はありませんか。

A・現在のところそのような計画
はありません。博物館は分野が

広く、現在の職員だけではそこ
までできる状態ではありません。
Q・「大館市先人を顕彰する会」
の設立についてはどのようなお
考えですか。

A・大変よいことだと思います。
力強いパートナーとしてできる
限り協力したいと思います。会
の皆さんだけでなく、市民のか
たたちもこの機会に関心が高ま
るよう期待しています。

日を改めまして、「大館市先人
を顕彰する会」の丸屋会長にお話
を伺いました。

Q・先人を顕彰する会の設立の経
緯は。

A・「小林多喜二文学碑建立の会」
が昨年十月に文学碑を建立しま
した。その後、多喜二だけの
顕彰にとどまらず、郷土の学術
文化、産業経済、社会事業など
に大きな功績を残した故人を顕
彰し、その足跡とその精神に学
ぶことをもって、地域づくりに
あたりたいとのことから設立さ
れました。

Q・どのような活動をするのです
か。

A・会報や研究誌発行、シンポジ
ウムを通じて先人たちを顕彰
していきます。また、人間に関